

# 園内研修情報

令和5年度 第3号

令和6年3月27日

水曜日



写真（上）は、隙間時間に、シートを手に語り合う保育者の様子。

## 「隙間時間」の価値

充実した園内研修は、  
自然に語り合える職場風土から

広島市乳幼児教育保育支援センターの職員が、市内の幼稚園を訪問してインタビューしました。

- 訪問した園  
広島市立幼稚園  
園児 27人  
職員 9人
- 今回お話をしてくださった方  
園長先生
- インタビュアー  
センター職員

※ 園長先生とセンター職員のやり取りについては、以下の通り。

園長は園長先生、センターはセンター職員

幼児理解の視点を  
深め、広げていきたい。

センター 園長先生、この園では、園内研修を充実させるために、日頃から面白い取組をしておられるとお伺いしました。本日は、その取組について教えてください。よろしくお願いします。

園長 よろしくお願ひします。自園の園内研修は、主に月1回、全職員で行う研究と、週1回、小単位で行う、その週の保育についての協議です。

センター 園内研修を、月1回、週1回実施するのは、大変そうですね。何か気を付けていることや大切にしていることはありますか。

園長 園内研修は、ただ実施するのではなく、それを充実させていくことが重要だと思います。

センター どのような点が重要なのでしょうか。

園長 同僚と一緒に、日頃から関わっている子どもの姿を中心に、保育について学ぶことだと思います。

センター なるほど。日頃関わっている子どもの姿を中心にすれば、保育者が互いに、具体的な子どもの姿や、同僚が実践している保育を想像しやすく、自然と学びが深まりそうですね。

園長 そう思ってしまうのですが、実は、そうとばかりは言えないのです。

※ 続きは、2ページ→

## 保育者が、語りたくなる きっかけづくり。

※ 1 ページからの続き

**センター** どういうことでしょうか。

**園長** 保育者は、保育中の子どもの姿や、同僚の保育実践を見ることが、意外に難しいものです。例えば、4歳と5歳では、教室が別ですし、園庭など同じ場所で保育していても、保育者はずっと同じ子どもの姿を見ているわけではありません。そこで、自園では、保育者が少しでも保育中の子どもの姿を共有できるよう、子どもの姿を共有するシートを活用しています。

※子どもの姿を共有するシートは、下の図参照

**センター** なんだか、面白そうですね。

**園長** そうなんです。子どもの姿を共有するシートは、職員室で保管し、保育後にどの職員も手に取って自由に確認できるようにしています。このシートがあることで、保育者は、子どもの具体的な姿を想像できるので、それをきっかけにして自然に語り合いが始まり、時間を忘れてしまうほど、子どもの姿を中心に楽しそうに語り合っていますよ。

**センター** 確かに共通の話題が生まれ、保育者の語り合いに発展しそうですね。しかし、語り合いをするだけで、学びが深まるものでしょうか。

## 語り合えることで 得られるものとは。

**園長** うーん、そうですね。学びを深めるというより、学びに繋がる気づきを得られるという感覚と言ったほうが分かりやすいかもしれません。研修には、外部研修、園内研修など、様々なものがあります。研修で新たに必要な知識や技術を得ることも大切ですが、それらを日々の実践に生かすことがより重要です。そのためには、保育者による十分な子ども理解が必要です。子どもを中心にして語り合うことは、保育者が子どもの姿から気づきを得ることや、他の保育者の視点を得ることに繋がります。保育者が、そういった気づきや視点を持ち、研修に臨む姿勢には、主体性が見られます。つまり、語り合いは、研修を充実させ、より良い保育実践に繋がり、子どもたちへ還元されていきます。

**センター** お話を伺って、研修自体も大切ですが、日頃の語り合いがとても重要であることが分かりました。

**園長** 園は多忙なので、“日頃の隙間時間”はとても大切です。語り合いは、強制されるものではなく、保育者同士が自発的にコミュニケーションをとることで、負担なく気づきを得て、保育者の成長に繋がります

園内研修を企画することも大切ですが、まずは、“隙間時間を価値ある時間”にしていくことで、自然に充実した園内研修を企画・実施することになると思います。

**センター** 最後に、教えてください。隙間時間に、シートを活用することで、この園で変容したことは何でしょうか。

**園長** まずは、保育者同士の語り合いが充実しました。また、保育者が、幼児と遊ぶ際に、「見守る援助」と「遊び仲間となって行う援助」とのバランスに変容が見られるなど、保育者の保育実践力の幅が広がりました。そして、保育者が、隙間時間によく語り合えるようになったことで、保育者の保育実践の変容、園内研修に主体的に臨む姿勢に繋がりました。

**センター** 隙間時間を活用する取組みは、とても興味深いと思いました。ちょっとした工夫で、職場風土づくり、園内研修の充実など、素敵な変容に繋がっていくことが分かりました。本日はありがとうございました。

**園長** こちらこそ、ありがとうございました。

### 「子どもの姿を共有するシート」のレイアウト

令和〇年 〇月 〇日 【園児名】〇〇 〇〇		記入者 (〇〇 〇〇)
子どもの姿	子どもへの関わり	関わった後の子どもの姿
所感		

※ サイズは A5

※ 必ず書くものではない。(負担にならないように)

※ 誰が書いてもよい。(園の実情に合わせて)

### シート活用の手順

- ① 保育者がシートに必要な事項を記載する。
- ② 保育者が記載したシートをファイルに綴る。
- ③ 他の保育者がファイルを確認する。
- ④ 意見交流、情報共有。
- ⑤ 保育者は、幼児理解を深化させたり、他の保育者の保育技術・知識を習得したりする。
- ⑥ 保育者は、深めた幼児理解や習得した保育技術・知識を生かして保育を実践する。

※ ①～⑥の循環により、保育者は研鑽を深め、保育実践力を向上している。